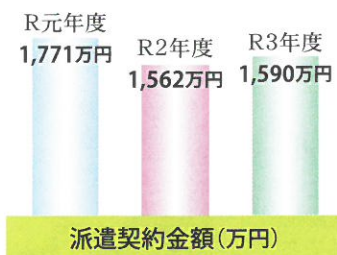
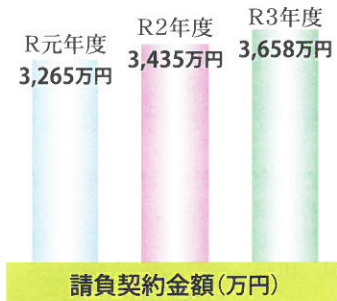
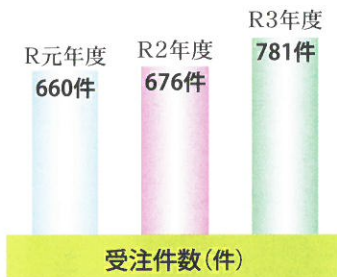


生きがい

URL(ホームページアドレス):<https://mikawa.yamagataren.org/>

11月末実績3ヶ年比較



令和3年度事業実績(11月末)

コロナ禍の中、受注件数が大幅増

令和3年度11月末の実績は、上記グラフのようになりました。8月に入って、当地においてもコロナ感染第5波の影響を若干受けましたが、年間を通して受注は順調に積み上がり、11月末の受注件数は781件(前年度同期より105件の増)、請負業務の

(4ページへつづく)



平素は、当センターの事業推進に対し

心よりお慶び申し上げます。

今後、ますます少子高齢化と共に労働力の大幅な減少が進む中、地域社会の活力を維持していくためには、

の賜物と深く感謝申し上げます。

結びに、会員皆様並びに関係皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。会員皆様並びに関係皆様方

におかれましては、お健やかに新春をお

迎えのことと

申し上げます。

まして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターへの公共、民間企業、

町民各位からの受注件数、契約金額は、年度を重ねるごとに若干ずつ伸びています。これも会員皆様の頑張りと関係各位からのご理解、ご支援

の賜物と深く感謝申し上げます。

高年齢者が生き生きと働く姿は地域を明るくし、何より私たち高齢者に健康をもたらします。また、この地域で生活する喜びを感じることで

きると思えます。

高年齢者の方々が社会参加できる環境づくりが極めて重要と考えております。

高齢者の社会参加が極めて重要

理事長 須藤 栄 弘



2022年新春

「がんばれ農業!」特集

農家の皆さんにエール! シルバーの皆さんにエール!



▲ R3・12/22、「軟白ねぎ」の入荷により、長ねぎの処理作業再開。
ほぼ年間を通して、JAの長ねぎ処理作業をシルバーがお手伝いしています。
(JA庄内たがわ三川集出荷施設)

第4次三川町総合計画(2021年～2030年)において、三川町が目指す将来像は、「あふれる笑顔・みんなが住みやすいまち・ハートフルタウンみかわ」です。その将来像を実現するための基本目標の一つに、「活力に満ちた産業の育成と雇用の創出」が唱われています。

「農業や工業、商業などの産業が盛んな町づくり」には、多くの町民の力が必要です。日々、就業に励むシルバーも、その一員ではないでしょうか。特に、農業分野においては、依頼される農家のご要望に応えられるよう、限られた人員ではありますが、フル稼働の毎日です。

農業が元気で、農家やシルバーも元気に活動すれば、三川町も自ずと元気になり、総合計画は早晩に達成できるというものです。2022年の新春にあたり、まずは紙面から元気を出してもらえよう、特集「がんばれ農業!」「がんばれシルバー!」「がんばれ三川町!」です。

農業に生きる 農家から農家へエール



東沼
大沼隆一さん

安全安心な農産物を消費者の皆さんに!

「シルバー人材センターの皆さんからは、長ねぎ畑の除草作業や調製作業などをお手伝いいただき、毎年助けられています。

最近では猛暑、豪雨などの異常気象により、米や野菜の生産が大変難しく、それに「コロナ」も加わり、明るくい見通しが立てにくい状況です。

しかし、私達農家はこれまで以上に、品質の良い安全安心な三川町の農産物を消費者の皆さんに届けなければなりません。農家の皆さん、厳しさに負けることなく、共にがんばりましょう!」

★大沼さんには、4月の種まき作業、6～8月の長ねぎ畑の除草作業などをお手伝いしています。

酒田市浜中
小林勝広さん

農作業の安全と家族の健康を守る!

「家族とともに、メロンと花、干し大根などを作っています。花の収穫作業では、三川町のシルバーさんより応援をいただいています。

農業はいくら技術があっても天候に左右されます。令和3年は、後半のストックが天候により前進出荷となり、販売額は前年の半分になりました。干し大根もよくありませんでした。毎年、天候には勝てませんが、親の代から受け継いだ技術と経験があります。何より心がけることは、毎日の農作業の安全と家族全員の健康です。農家の皆さん、共に頑張りましょう!」

★小林さんには、花の収穫作業(夏のケイトウ、冬のストックなど)をお手伝いしています。

三川町の農業支援策

本町では、令和3年度、「新農業所得構造改革推進事業」を実施し、多様化する農業経営を支援するとともに、農業者の所得向上を目指してきました。その推進にあたり、次の4つの事業に取り組んでいます。

1. こだわりの米作りを支援する「瑞穂の郷づくり事業」
2. 大規模農業の効率化を支援する「スマート農業導入支援事業」
3. 野菜や大豆などの土地利用型作物などを支援する「園芸等生産向上推進事業」
4. 高品質な農産物を安定的に生産するための土づくりを支援する「土づくり支援事業」

これらの事業利用者の皆さんからは、「設備の導入は高額である中、町事業を活用することにより、作業効率や品質の向上、面積の拡大につながっている」と、喜んでいただいています。

また、コロナ禍により、米価が下落したことから、「米価下落対策事業」を緊急に実施し、令和3年中にお支払いができるように対応しています。

未だ、収東が見えない「新型コロナウイルス感染症」ですが、農業者の営農意欲が減退することのないよう、今後とも様々な営農支援に取り組んでまいります。

上町
小野寺 正樹さん



ネバーギブアップ 百姓根性!

「昨今の厳しい農業情勢に、諦めにも似た溜息が漏れてしまう。しかし、困難な時ほど、声を大にして、チャンスが巡ってくるものではないでしょうか! 共存共栄による助け合いの精神、農業特有の共同の精神も、その一つだと思います。

一人は皆のために、皆は一人のために。歴代から受け継がれた、この三川の農地を守るため、知恵と工夫を凝らして立ち向かっていきたいものです。ネバーギブアップ百姓根性!」

★小野寺さんには、春に田植えの補助作業、秋にワイン用ぶどうの収穫作業などをお手伝いしています。

対馬
菅原 誠さん



初心に帰り、 米作りにチャレンジ!

「自然災害のない地域環境を取り戻すために立ち上がる。消費者が求めている有機農業を始めるのは、今がチャンス。環境負荷を軽減する栽培方法が進んでいます。この厳しい農業経営の中、有機農業は安定経営の要になります。

日本一恵まれた田園環境で未来を語り、汗を流す。有機農業は生産者と消費者の架け橋。一歩踏み出す勇気が必要。「作って見たら大丈夫だけえ」これが初心者の感想。健全経営は情報発信が必須。初心に帰り、皆で米作りにチャレンジしよう!」

★菅原さんには、6月と8月、有機栽培米づくりの「ひえ取り作業」をお手伝いしています。

三川町から 農家とシルバーにエール



三川町産業振興課長
須藤輝一さん

本町の農業は、耕作者の高齢化、担い手不足という課題を抱えており、これまで家族が中心だった農家の労働力が不足しています。これを補完する方法の一つとして有効なのが、外部組織からの雇用による労働力の確保です。

このため、シルバー人材センターが、高齢者の就業により、農業に労働力を提供することは、本町農業を支える方策の一つとして大変に有効です。

この場合、シルバー人材センターから派遣される方々の作業精度と作業効率の向上とともに、そのスキルを持つ会員の確保と拡大が課題となります。

対応策としては、農業経験者や生産者組織、公的機関による農作業研修会等を実施することにより、派遣される高齢者にとっては農作業技術の習得と、農作業への不安解消が図られ、作業を依頼する者にとっては、高齢者雇用に対する信頼が高まることとなります。

このことが、高齢者の安定した就業機会の確保とともに、町内農家の人手不足という課題の解消に、組織的かつ安定的に支援することに繋がります。

結びに、シルバー人材センターの会員の皆様には、豊かな経験と技術を活かし、今後とも活力ある地域社会の構築とともに、本町の基幹産業である農業の維持・発展に寄与されることを期待いたします。

農業関連の契約額は、6,476千円 町民の皆さんの力をもっと!

令和3年4月～11月まで、シルバー人材センターが農業関連でお手伝いした契約額は、稲作が2,114千円、畑作が1,821千円になります。これにJA長ねぎとしいたけ処理作業などの契約額を加えると、合計は6,476千円になります。11月末までの請負業務の契約額が36,583千円ですので、農業関連業務の占める割合は17.7%になります。

稲作については、春の種まきから田植え補助作業まで、人手を多く必要とする時期に多くのご依頼があります。畑作については、大豆・枝豆、長ねぎの除草作業から花やとうもろこしの収穫作業まで、年間を通して多岐にわたるご依頼があります。

今のところ、限られたシルバーの会員がフル回転して農家のご依頼に答えている状況ですが、年々農家からのご依頼は増えており、農作業に従事できるシルバーの会員は、もっともっと必要な状況です。

農業経験者はもちろん、農作業をやってみようという方、大歓迎です。シルバーはもちろん、農業、そして三川町を元気にするために、是非とも町民皆様のご協力をお願いします!

JAから 農家へエール

コロナ禍により、日本全体の飲食業界が停滞し、農畜産物価格も低迷している状況にありますが、農家の皆さんはこの苦境を脱するために、あらゆる知恵を絞っていることと思います。

JA庄内たがわの農業振興策は大きく、

1. 「担い手対策」～生産拡大への推進と支援～
2. 「安全安心な農畜産物の生産・指導」
3. 「集荷販売体制の整備・強化」であります。

私はJAの販売部門に携わる者として、これまで以上に取引先との情報を密にして、農家が心を込めて作る農畜産物をより高く販売出来るよう努めて参ります。JAもがんばります。農家の皆さん、共にがんばりましょう。



JA庄内たがわ営農販売部
販売課長補佐
奥泉喜章さん

JAからシルバーへエール

三川に限らず、シルバーの皆さんには農作業のお手伝い、農産加工品の処理作業、最近では庄内柿の選果など、多方面にわたってお世話になっております。

現在、JAでは、三川における長ねぎの調製機械を3台揃え、生産拡大・販売高増大を図る取り組みに努めております。

時節、人手の確保は容易ではありませんが、シルバーの皆さんの力は欠かせないものがあります。これからも引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願い致します。

引き続き、お客様の信頼を大事に！

(1ページよりつづく)
契約額は3千658万円(前年度同期より23万円の増)、派遣業務の契約額は1千590万円(同28万円の増)、請負と派遣を合わせた契約額は5

千248万円(同251万円の増)となりました。派遣業務は、依然としてコロナの影響があり、派遣先の業務が一気に回復することは難しい状況ですが、請負業務の草刈・剪定作業などは、

コロナの影響を受けることなく、お客様の口コミもあり、町内外から多くのご依頼がありました。また、昨年10月、山形県最低賃金が改定されたことに伴い、10月の理事会において、配分金単価の改定を

させていただきました。更に、派遣先においても、諸事情をご勘案いただき、賃金の改定についてご了承をいただきました。お客様の信頼に応える事業を引き続き、会員一丸となって取り組んでいく必要があります。

11/3(水)

天候も味方にして
雪囲い作業急ピッチ！

働く喜びも倍増！



▲鶴岡市昭和町・高運寺さんの雪囲い作業です。評判が評判を呼び、剪定や雪囲い作業は、酒田市や鶴岡市のお客様からも多くのご依頼があります。受けたご注文はすべて、天候を見ながら仕上げ、作業は12月上旬に完了しました。

10/20(水)

安全よし！手際よし！
連合会の安全就業対策推進委員
JA長ねぎ処理作業を巡回訪問



▲連合会の安全就業対策推進委員は、安全就業の推進を図る観点から、県内25センターを毎年4センターずつ、巡回訪問しています。一行8名は、JA庄内たがわ三川集出荷施設での長ねぎ処理作業を評価。「安全に、そして手際よく作業が行われている」と、太鼓判をいただきました。

年間を通して... 安全を徹底！

10/15(金)

優良シルバーとして表彰！
安全就業推進大会



▲安全就業推進大会に出席した、左から理事の畑山さん、副理事長の菊池さん、理事長の須藤さん、監事の梅津さん。大会の席上、令和3年度「安全就業優良シルバー」として表彰を受けました。この賞を励みにして、引き続き、安全就業の徹底に取り組みます！

令和3年度「安全就業に関する標語」入選作品

優秀賞

「慣れすぎた心に潜む危険の芽」

山形市SC会員 佐藤 芳和さん

「シルバーのみんなの誇り安全就業」

新庄・最上地域SC会員 山口 宏さん

「まだやれる油断と過信に潜む事故」

東根市SC会員 笹川 充義さん

10/18(月)

みかわ保育園、4歳組がお仕事！ 春には菜の花とチューリップ



▲みかわ保育園4歳組の子ども達が、菜の花の種を蒔き、チューリップの球根を植えました。シルバーのおじいちゃんとおばあちゃんは、花壇を耕し、肥料を入れるなど、子ども達のお手伝いをしました。春には、どんな菜の花とチューリップの花が咲くでしょう！



「事故ゼロも小さな注意の積み重ね」

庄内町SC会員 齋藤 君夫さん

「安全は心と体の余裕から」

米沢市SC会員 渡部 善克さん

「安全はチームワークと声掛けで」

鶴岡市SC会員 野地 廣章さん

「事故0」は一人一人の意識から！

山形市SC会員 加藤 裕さん

職員優秀賞

「見たつもりわかったつもりが事故招く」

尾花沢市SC職員 庄司 辰也さん

令和3年度「安全就業に関する標語」について、県内25センターより寄せられた594編の中から、入選になった作品は次の通りです。10月15日(金)、山形ビッグウイングにて開催された安全就業推進大会において、9名の皆さんが表彰を受けました。

最優秀賞

「ベテランもいつも心に初心者マーク」

尾花沢市SC会員 戸津 則雄さん

令和3年度 8～12月 活動スナップ

一旦、中止するも

開催できました!

令和3年度

会員日帰り研修会

10/20(水)

当初、9月1日(水)に開催を予定して中止になった、令和3年度「会員日帰り研修会」を10月20日(水)、



▲ 転倒予防の第一は、「ひざ」を柔らかくすること。日常生活の中で、「ひざ」を柔らかく保つ方法を学びました。

後段は、待ちに待った懇親になり、コロナ感染防止策を図りながら、たっぷりの生ビールと季節の芋煮で、前半戦の就業を振り返りました。
最後は、お楽しみ抽選会となり、須藤理事長が引いたクジの番号を持っている人が当選者となり、楽しい景品を受け取りました。就業後半戦に向け、燃料タンクは満タンです。

今回は腰痛防止、今回はひざ痛防止を中心に、実際に体を動かしながら、常に健康を保つ方法を学びました。

前回は腰痛防止、今回はひざ痛防止を中心に、実際に体を動かしながら、常に健康を保つ方法を学びました。
前段は、介護予防専門コーディネーターの飯野隆さんを、7月21日(水)「なの花荘ボランティア活動」講習会に続いて招き、「いつまでも働き続けられる体づくり」パート2の講習を受けました。
三川町公民館2階研修室において開催することができました。

お知らせ その1

町民のみなさんへ

第2回「障子・ふすま張り講習会」

- 令和4年1月30日(日) 午前9時
- 三川町公民館玄関ロビー

お知らせ その2

シルバー会員のみなさんへ 新年顔合わせ交流会

- 令和4年1月19日(水) 午後2時
- 三川町公民館2階研修室

▽2022年になりました。2021年は依然として「コロナ」の暗雲が立ち込めました。「オミクロン」という新たな暗雲も、世界中に急速な広がりを見せています。▽2021年10月、このような暗雲を振り払う、スカッとした出来事がありました。
▽三川町出身、遠渡隊長が率いるブルーインパルス、遠渡隊長が率いるブルーインパルスの精鋭6機が庄内、そして三川の空を舞いました。ワクワク・ドキドキ、見上げた人はどなたも、今までにない爽快感を味わったのではないのでしょうか。
▽遠渡隊長は、小学校6年の時、開港した庄内空港の飛行機に魅せられ、パイロットの夢を抱き、航空自衛隊で厳しい訓練を積み、遂にブルーインパルス隊長として、ふるさと庄内の空を展示飛行する夢を実現させました。▽2021年、大きな夢を実現させた人がもう一人。流行語大賞「リアル二刀流・ショータム」を生んだ、大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手。天賦の才能はもろろん、夢を実現させる並大抵ではない研鑽があったに違いありません。▽遠渡隊長や大谷翔平選手のように、多くの人々に明るい夢や希望を抱かせるまでにはいきませんが、私たちも一人ひとりが自分の夢を持ち、それを実現させる一歩一歩を進めることはできるのではないのでしょうか。新しい年が始まりました。さあー。

(事務局・K)

編集後記